

証券市場新聞

日経平均株価

1万6188円41銭

▲48円07銭 (前日比)

TOPIX

1311.27

▲3.73 (前日比)

2016

2/29

月曜日

Marketpress.jp

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

3Q上方修正銘柄を狙え!

円高無縁の内需関連企業



円高関係なく利益が増えた企業は?

急建設(1720)は今年3月期予想を営業利益で114億円から144億円(前期比2.4倍)へ、食品で

為替動向については、2月24日には一時、1ドル111円61銭まで円高が進展。トヨタ自動車(7203)の前提を替レート1ドル120円に代表されるように、輸出系企

業の多くは1ドル115円〜120円を前提にしており、円高が進む現状では業績不安が株価の重石となっている。その一方で、先の第3四半期決算では為替の影響が少ない内需関連に業績の上

建設や薬品、食品など

東京市場は値動きの荒い動きから一転し2月最終週は日経平均で1万6000円前後を維持した。ただ、為替は週央に1ドル111円台に再度突入するなど更なる円高懸念は未だ拭いきれない。その中で注目されるのは、第3四半期に上方修正した銘柄群。その多くは為替に影響されない内需関連で、波乱相場下では安値更新後に戻りに転じる銘柄も少なくない。

は江崎グリコ(206)が155億円から165億円(同15.8%増)へ、ぐらなび(2440)

は60億円から64億円(同25.5%増)へ、薬品では小野薬品工業(4528)が152億円から240億円(同62.2%増)へ、それぞれ営業利益を上方修正した。グリコについては第3四半期時点で168億6100万円を計上、通期予想を超過しており、先行き再増額へ進む可能性が高そうだ。

日経平均日足チャート



今週の動意銘柄

新報国鉄3日連続S高

今期56%営業増益で2倍増配へ

週明け22日から24日まで新報国鉄(5542)が3日連続ストップ高に買われ、一気に4ケタ

たことを受け、恵家が強まった。液晶パネル製造装置や半導体製造装置向けに主

力の低熱膨張合金が大幅に伸び、業績拡大を牽引する。前期に続いての大幅増収増益となり、第2四半期末、期末を合わせた年間配当を20円(前期10円)へ大幅に増配する。

ラウンドワン高値

22日、ラウンドワン(4680)が急伸、昨年来高値を更新した。19日付で三菱UFJモルガン・スタンレー証券がレポートを「Neutral」から

「Overweight」へ、目標株価を530円から960円へ引き上げた。今2016年3月期を前期連続営業利益で従来予想の52億円から会社側計画と同様の58億円(前期比12.7%減)、来期予想を55億円から71億円へ引き上げている。

シリコンスタジオ連続S高

22日に米ミストウオーカーと新作ゲームタイトルの共同開発を開始したと発表

シリコンスタジオ(3907)が前日比501円高の3035円と前日に続いてストップ高に買われた。

gumiはVR・AR市場睨みベンチャーキャピタルFに出資

19日取引終了後、2016年12月期の連結業績を発表、売上高58億円(前期比21.4%増)、営業利益9億円(同56.3%増)と大幅増収増益を予想し

22日、gumi(3903)がストップ高。19日取引終了後、ベンチャーキャピタルファンドのVR・FUND.L.P.へ出資、子会社のgumi America

の収益機会を確保することが目的で、主に米国の優良企業へ出資する。

PPS、全自動核酸抽出システム世界同時発売

23、24日とプレシジョン・システム・サイエンス(7707)が連続ストップ高。CEマーケティング(EU加盟国に製品を流通・販売するための国際的な制度)を実施した全自動核酸抽出システム2機種を、世界同時発売したと発表したことを受け、買い気が強まった。核酸抽出用試薬と組み合わせることで、高品質な核酸を短時間で抽出できるとい

高に買われた。22日に米ミストウオーカーと新作ゲームタイトルの共同開発を開始したと発表

シリコンスタジオ(3907)が前日比501円高の3035円と前日に続いてストップ高に買われた。

関西電力が続落

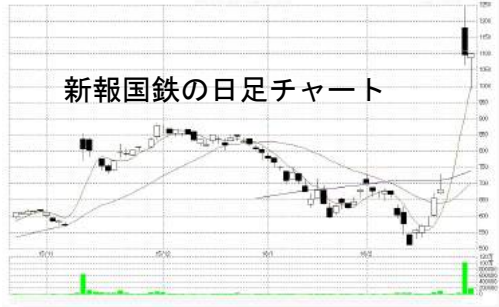
高浜原発水漏れで再稼働に遅れの可能性

22日、関西電力(9303)が連続落。高浜原発4号機(福井県高浜町)で1次冷却水の漏れがあったと発表

原因究明に時間がかかれば再稼働の工程に遅れが生じる可能性もあると伝えてお

高に買われた。22日に米ミストウオーカーと新作ゲームタイトルの共同開発を開始したと発表

シリコンスタジオ(3907)が前日比501円高の3035円と前日に続いてストップ高に買われた。



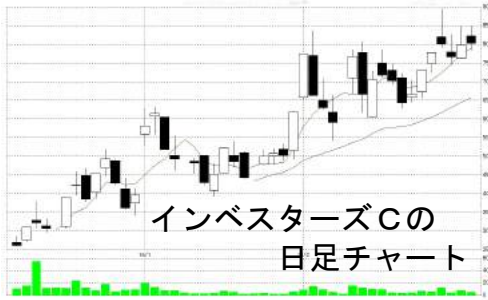
22日、gumi(3903)がストップ高。19日取引終了後、ベンチャーキャピタルファンドのVR・FUND.L.P.へ出資、子会社のgumi America



原因究明に時間がかかれば再稼働の工程に遅れが生じる可能性もあると伝えてお

高に買われた。22日に米ミストウオーカーと新作ゲームタイトルの共同開発を開始したと発表

シリコンスタジオ(3907)が前日比501円高の3035円と前日に続いてストップ高に買われた。



23日、インベスターズクラウド(1435)が一時前日比1180円高の8950円まで買われ、高値を更新した。FODの引上げ後に22日

イバスターC最高値

スマートドアホン新会社設立

R M U L A (東京都渋谷区) とスマートドアホンの新会社「iA part me nt」を設立することを発表しており、これを好感している。F O R M U L A 社は昨年10月21日より業務提携を開始し、スマートドアホン「T A T E R U k i t (タテルキット)」の共同開発を行っており、新会社を通じて T A T E R U k i t の開発及びサービスの強化を図る。

スズキが3日続落

23日、スズキ(7269)が3日続落の影響でグループのマルチ・スズキの工場が操業再開のメドが立たないと伝えられたことが嫌気された。22日までに治安部隊との衝突などで少なくとも地元住民19人が死亡、マルチ・スズキの工場は部品搬入ができない状態になっている。

Vテクノロジー有機EL 部材参入報道を材料視

24日、Vテクノロジー(7717)が急反発、前日比325円高の3950円まで上げ幅を広げた。24日付け日本経済新聞が「日本の素材メーカーなどが相次いで有機EL部材市場に参入する」と報じたことが製造装置のブイ・テ

クノロジーは加工用部材の開発に着手し、たとえ米アップルがスマートフォン「i P h o n e」に有機ELパネルを採用する方針で、ジャパンディスプレイ(6740)による有機ELパネルの激、週末にかけて一段高に買われた。

日経平均15000円前後を底として大局24000円目標先回り押目買一貫

本紙上最近の底値買予告銘柄例 (よくお調べください) (2月24日)

- 住友鋳 → 1000円前後買 1250円に上昇中今後は?
- 三菱商事 → 1700円前後買 1900円に上昇中今後は?
- 住友ゴム → 1300円前後買 1650円に上昇中今後は?
- オークマ → 700~750円買 900円に上昇中今後は?
- 任天堂 → 15000円前後買 18000円に上昇中今後は?
- 神戸鋼 → 高値240円 暴落中 円目標断固買
- みずほFG → 雨降って地固まる。マイナス金利は銀行株全体陰の極の買場なり

迷える投資家は発想の転換を。門外不出当社独自の損の少ない底値大幅高予想銘柄を書面にてお知らせします。その後の成果を論より証拠お確かめください。(返信切手不要)

大伸経済研究社 (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) 公表銘柄は一例であり全てではありません 1年後の成果に自身あり(少数会員制) 目標値は当社独自の分析による予想値です 将来の運用成果を約束するものではありませんが (銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません) 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690 (午前8:30~11:00) 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はここをクリック!](#)

S高で値上りトップ

TDCソフト

1対2株式分割と大幅増配

24日、TDCソフトウエアエンジニアリング（4687）が急騰、ストップ高となる前日比300円高の1352円まで上げ幅を広げ、凍傷1部値上がり率トップに立った。

23日取引終了後、1株を2株への株式分割と大幅増配を発表したことを受け、買い気が盛り上がった。



24日、富士石油（5017）が続騰。三菱UFJモルガン・スタンレー証券が23日付でレイトイングをNeutralからOverweight、目標株価390円を490円に引き上げた。原油安と円高で自家消費燃料コストが減少することを評価。

富士石油が続騰

24日、富士石油（5017）が続騰。三菱UFJモルガン・スタンレー証券が23日付でレイトイングをNeutralからOverweight、目標株価390円を490円に引き上げた。原油安と円高で自家消費燃料コストが減少することを評価。

シャープ急反落

鴻海への大型増資で希薄化懸念

25日、シャープ（6753）が売買停止をはさんで急反落、一時38円安の136円まで売られた。

この日、午前11時に日本経済新聞電子版が台湾の鴻海

（ホンハイ）精密工業の買収が決定したと報じ、再建策進展への期待と希薄化の問題などへの警戒感との綱引きとなり、乱高下となっていたが、午後2時前に出資を受け入れると正式に発表された。

式に発表、鴻海グループへの第三者割当増資を実施することから、大型増資による希薄化を懸念した売りがかさんだ。

普通株32億8195万株とC種種類株862万株を発行、発行価格は普通株が1株118円、種類株は1万1800円で、鴻海グループの出資比率は約66%となる。翌26日も普通株式の発行価格が時価を下回り、鴻海精密工業が財務リスク関連情報が不透明に見合わせると発表したこと、大幅に続落した。

フィンテック関連軒並み高

金融庁、仮想通貨を貨幣と認定

24日、さくらインターネット（3778）、ラクーン（3031）、ロックオン（3690）、リアルワールド（3691）などフィンテック関連銘柄が軒並み高。日本経済新聞が「金融庁が国内で初めて導入する仮想通貨の法規制案がわかった」と報じたことを受け、買い気が再燃した。

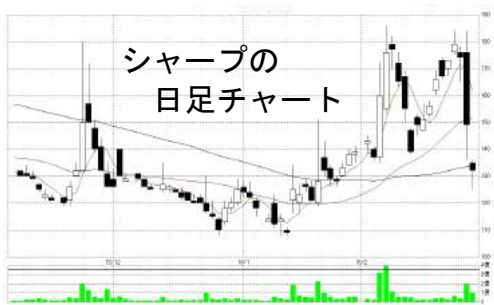
24日、仮想通貨を単なる「モノ」と見なした「モノ」と見なした「モノ」の機能を持つと認定することで、決済手段や法定通貨との交換に使えると正式に位置づけると伝えられた。フィンテックの本格的な普及への期待に加え、関連銘柄は年初に高値を付け調整が一巡していたことも買い気を誘ったようだ。

マネーパートナー連続S高

25日、マネーパートナーズグループ（8732）が連日でストップ高。昨年7月にKennedyビットコイン取引所を運営するPaywardとの業務提携で合意しており、仮想通貨への取り組みへ改めて期待が高まった。今3月期第3四半期は56.6%営業増益を達成するなど業績も急ピッチで回復している。

はてな公募価格の3.8倍で初値

24日に東証マザーズに新規上場した、はてな（3930）が25日、公募価格800円の3.8倍となる3025円で初値が付いた。翌26日はストップ高。ソーシャルブックメーカー「はてなブックマーク」、ブログ「はてなブログ」などの開発運営及び、法人向けコンテンツマーケティング、テクノロジーソリューションサービスを展開。





前12月期純利益は過去最高

グローバル経営体制を構築

展開も順調に推移。これによ

住友ゴム工業 (5110)



2015年12月発売の「ゼクシオ ナイン」

0)の株価は2月12日の1240円の年初来安値更新後に出直る動き。好実態を見直してみたい。

り前15年12月期は通期連結売上高で8486億6300万円(前年度比1・3%増)と増収、営業利益は770億6700万円(同10・6%減)と減益ながら、米国グッドイヤー社とのアライアンス契約及び合併事業解消に伴う特別利益の計上などにより、純利益は558億3400万円(同4・9%増)と過去最高を更新している。

「ダンロップ」や「フアルケン」ブランドで展開するタイヤ事業では、国内市販用タイヤは、暖冬の影響により冬タイヤが伸び悩んだが、夏タイヤではダンロップブランドの長持ちする低燃費タイヤ「エナセーブ」シリーズを筆頭に特殊吸音スポンジ「サイレントコア」搭載タイヤの販売が好調。海外でも市販用タイヤは米国を中心にグローバルでの拡販効果が寄与し、新車用も非日系メーカーへの納入が拡大している。スポーツ事業では国内のゴルフ用品で主力のゴルフクラブ「ゼクシオエイト」が好調な販売を持続したことに加えて、2015年12月発売の「ゼクシオ ナイン」の初期

低燃費タイヤに強み

今年に欧米での事業拡大と新興市場への進出を加速するためのグローバル経営体制を構築。最新技術に裏付けられた低燃費タイヤをグローバルに拡販するとともに、制振技術、ヘルスケアビジネスの展開も進めることで持続的成長を図り、16年12月期は売上高8600億円(前年度比1・3%増)、営業利益800億円(同3・8%増)、純利益570億円(同2・1%増)と増収増益を見込む。



日商業開発は再増額も

25日、日本商業開発(325)が続伸、一時前日比95円高の1830円まで買われた。住友不動産(8830)を筆頭に大手不動産が物色されるなかで、低リスクで長期安定収益が見込める「JINUSHIビル」を手掛ける同社株も見直される動きとなった。今16年3月期については、2月10日に発表した第3四半期累計(4~9月期)で連結売上高142億2800万円(前年同期比52・7%増)、営業利益55億700万円(同4・0倍)と大幅な増収増益を達成。通期業績については12月14日に売上高で従来予想の165億円から

ニックスがS高

ジカウイルス感染で物色

週末26日、ニックス(4243)がストップ高。厚生労働省がブラジルから帰国した川崎市内の10歳代の男性が、ジカウイルスに感染していたことを発表。ジカウイルスは蚊を媒介して感染することからダイオ化成が製造する「虫のイヤがる網」を販売する同社が関連銘柄として人気を集めた。

イトア
ンド
(2882)

今期は65.5%営業増益 「大阪王将」筆頭に好調

メニューを相次いで投入。また、汁なしのまぜそばやコンビニエンスストアとの複合店舗などの新業態店舗を直営出店したほか、直営店で業績好調なベーカリーカフェ業態の

新しい取組みも



長尾店

イトア
ンド(2882)は大衆中華料理の「大阪王将」を主力にラーメンの「よって

加盟店を出店するなど、新たな取り組みに注力。これにより、今2016年3月期は第3四半期累計(15年4月～12月)で売上高168億9800万円(前年同期比10.2%増)、営業利益4億3800万円(同190.0%増)と大幅増益を計上、通期予想の218億8000万円(前期比5.2%増)、営業利益4億6900万円(同65.5%増)達成へ向け順調に推移している。冷凍餃子を中心に、食料品販売の拡大も続こう。

こや」、「太陽のトマト麺」、ベーカリーカフェ「R Baker Inspired by Court rosarian」などの外食チェーン店を展開、これと併せて全国の生活協同組合や一般量販店、さらにはインターネットで「大阪王将」ブランドなどの冷凍食品も販売し、総合フードサービス会社を標榜している。



イトア
ンド
の日足チャート

特選銘柄

主力業態の「大阪王将」は、肉を前面に押し出した



十八銀行の日足チャート

基本合意したと発表
したことを受け、買
い気が盛り上がった。
九州全域にネット
ワークを広げ経営基
盤を強化、アジアを

十八銀行が急伸

ふくおかFと統合で地銀トップに

26日、十八銀行(8396)が急伸、前日比36円高の266円まで上げ幅を広げた。この日立会い開始前にふくおかファイナンシャルグループ(FP:8354)と経営統合することで基本合意したと発表したことを発表したが、買気は盛り上がった。九州全域にネットワークを広げ経営基盤を強化、アジアを

26日、セブン工業(7896)がストップ高。未定としていた2016年3月期の期末一括配当について、2円の配当を実施すると発表。経営再建が進み、08年3月期以来8期ぶりに復配を果たすことが好感された。

セブン工業が復配

FFRIストップ安

今期は一転赤字転落見込む

独)予想を下方修正したことを嫌気した売りがかさんだ。の18億1500万

FFRI	26日、	円から	9億1000
(369)	(2)が前	万円(前期比	3.9%
0010	0010	増)へ大幅に引き	
0010	0010	下げ、営業利益2億	
0010	0010	3800万円の損失	
0010	0010	(前期2億5600	
0010	0010	万円の利益)、最終	
0010	0010	利益1億7600万	
0010	0010	円を3億2000万	
0010	0010	円の損失(同1億7	
0010	0010	100万円の利益)	
0010	0010	へ一転赤字に転落。	
0010	0010	納期の後ずれとアラ	
0010	0010	イアンス施策の凍結	
0010	0010	で売上高が計画を大	
0010	0010	きく下回り、損益が	
0010	0010	急速に悪化する。	

今週の動意銘柄

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**



株式市場新聞の名物コーナーが復活!

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

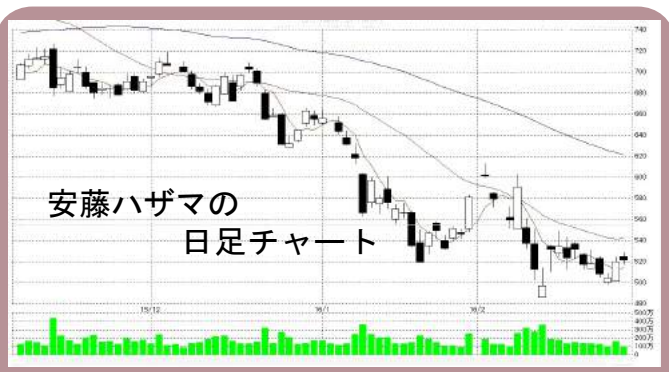
週末に向けて全般相場は上値をとつてくる動きが見られました。この欄を書いておられます25日については、60円高で始まった日経平均は

た日経平均は6000円台に降した後も1万6100円台までスナリと上げました。その後、戻り待ちの売りものなどを消化したためにもみあいになりましたが、後場に入ってから徐々の上値をとる展開になり、1万6200円台まで買われる場面がありました。総じて高くなつたのですが、予想したように買いの主役は

1万7000円復活を期待

金融系とゼネコンをはじめ運輸、不動産などといった内需系が占めました。円相場も111円台で推移していたのですが、112円台に乗せるなどやや円安となりました。15日の1000円高の相場の後に揉み合いが続き、いつ飛び出してもおかしくない状況でしたが、月末の整理売りが途絶えた25日にキツチリと上値を追ったことになりました。

ゼネコン中心の流れは不変



しかし、上値を追ったからといってまだまだみ合いゾーンに位置していますので、本格的な戻りとは

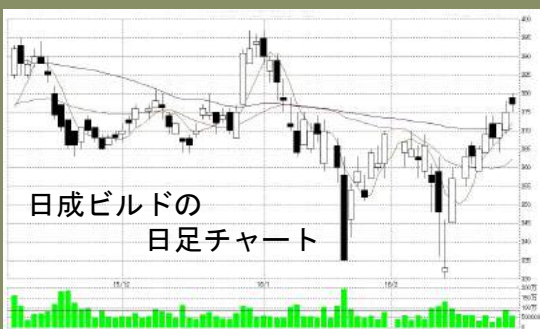
りとは言えませんが、今後は実質3月入りになつたこと週末の株式の含み損解消を目指した展開になりそうです。けん引役は最も業績見通しが明るく円高にも左右されないゼネコンを中心とする流れは変わることはありません。引き続き、安藤ハザマ(1719)、大成建設(1801)など。JR東日本、JR西日本

がいずれも修復工事に巨額の投資を決めました。トンネル、橋梁が中心でこれらの工事強い安藤ハザマと鹿島建設(1812)、西松建設(1820)にも注目です。日経平均は3月上旬には1万7000円台復活を期待します。

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市情報
これどや!!
<http://www.kabu-takano.com/>
毎日情報を配信中!

今週の

活躍期待銘柄



日成ビルド (1916)

今期22.4%営業増益

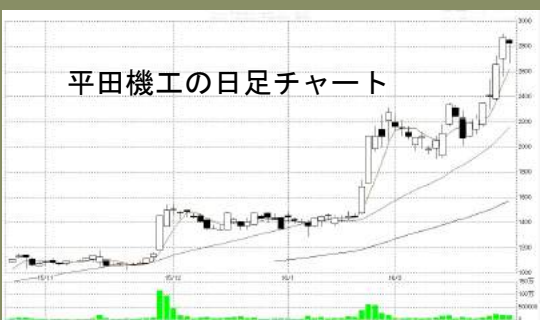
日成ビルド工業(1916)は2月12日に330円まで売りに叩かれた後に出直る動きとなってきた。

プレハブ建築、立体駐車場の大手総合メーカーで事業用施設プレハブを中心に共同住宅へも展開。システム建築は、工場向けに大スパンタイプ商品「日成Vスパン1S」が大きく増加、総合建設事業では、鉄道工事やマンションなどの建築工事が堅調に推移しており、今16年3月期は通期連結営業利益で40億円(前期比22.4%増)と大幅増益を見込む。日本エスコン(8892)と連携、新規分譲マンション協業プロジェクトとして取り組んできた京都市の分譲マンションの譲渡が完了するなど収益寄与が本格化している。

大手コンビニエンスストアの開発も寄与しており、実態評価なら株価は400円を目指す動きを期待。(と)

日エスコンとの連携進める

期待。(と)



平田機工 (6258)

10期ぶり最高利益視野に

平田機工(6258)が高値保ち合いを上放れ、一段高を志向してきた。

自動車関連生産設備とFPD関連を中心とする生産設備エンジニアリングメーカーで、国内外で自動車、家電分野の受注が増加、生産効率向上に伴う原価低減効果も大きく、今2016年3月期は期中、利益予想を上方修正した。連結営業利益27億円(前期比27.2%増)、純利益17億円(同79.6%増)と大幅増益を見込み、期末一括配当を30円(前期15円)への増配を予定。米国工場の増設も完了し、来期は10期ぶり最高利益更新が視野に入ってきた。

業績変化率の大きさに加え、19日現在の信用倍率0.97倍、25日現在の貸借倍率0.15倍の好取組も株価を支えており、06年に付けた上場来高値2930円が当面の目標になる。(先)

増設完了し生産性も向上

増設完了し生産性も向上

星野三太郎の 株街往来

～思い出のおでん屋～

☆
今週は遅

まきながら社の新年会を開催した。最近飲み会となると知人の店か安い居酒屋しか行かないが、今回は社の先輩の要望で道頓堀にある老舗のおでん屋で会合を開いた。

今冬は暖冬で鍋料理を含めて冬の定番メニューが不振なんてことを聞いたが、やはりこの時期に熱燗とおでんは欠かせないと感じた。因みにその老舗はミナミの道頓堀が本店だが、キタの梅田にも店舗を構えている。その梅田の店舗には、その昔、亡き親父に誘われて何度か飲みに行ったのを思い出した。その当時は何かと文句が多かった親父が苦手だったけど、おでんを食べているときは優しい顔だったことを思い出した。

数十年後に大先輩に誘われた店が同じ系列の店だったのも、何かの「縁」を感じる。普段は縁起なんて考えないが、親父とおでん屋にいった後に、大学受験に合格した通知を受けた。今回、そのおでん屋で新年会を開いたのも何かの転機かも知れない。年初から暗い話題が多いけど、明るい方向に向かうことを期待してしま



New product

アーケードゲーム9年ぶり新作

バンダイナムコエンタ

機動戦士ガンダムU. C. カードビルダー



人気トレーディングカードアーケードゲーム「機動戦士ガンダム カードビルダー」シリーズの9年ぶりの完全新作「機動戦士ガンダムU. C. カードビルダー」を3月17日から全国のゲームセンターで本格稼働する予定で、25日から一部ゲームセンターで先行稼働した。

最新作のキャッチコピーは「宇宙世紀を再構築（リビルド）せよ」で「機動戦士ガンダム」シリーズ作品のキャラクターやモビルスーツが登場。ゲーム筐体はタッチパネル対応のマルチディスプレイを搭載し、全国ネットワークマッチング対応の対戦モードで戦略性の高いバトルをプレイできる。

観光特急「青の交響曲」

近鉄GHD9月28日から運行



観光特急「青の交響曲」

近鉄グループホールディングス（9041）傘下の近畿日本鉄道は南大阪線・吉野線沿線に注目を集め観光振興を図るため、大阪阿部野橋駅・吉野駅間において「上質な大人旅」

をコンセプトとする観光特急「青の交響曲」の運行を9月28日から開始する。

「青の交響曲」は「あべのハルカス」が立地する大阪阿部野橋駅と、桜の名所吉野山の玄関口である吉野駅を結び、沿線自治体や観光関係者と連携し、「上質な大人旅」を提供するもの。車両の外装は落ち着いた濃紺色にゴールドのラインをあしらいい、車両前面や側面にはエンブレムなど特別な装飾を施す。座席スペースは座席・カーペット・カーテンに、それぞれ質感のある素材を使用、地元の吉野地域の竹材を座席の一部に使用するなど贅沢感を演出している。

企業レター

週末の開示情報

★オーエス (9637) は集計中の2016年1月期業績を上方修正。連結業績について、従来予想の売上高が98億2000万円を101億5400万円(前の期比6.8%増)、営業利益9億円を10億6200万円(同38.3%増)、最終赤字1億3500万円を200万円の黒字(前の期3億6800万円の黒字)へ。映画と不動産賃貸・販売事業が堅調に推移したことで売り上げ、利益とも計画を上回る。

★リョーサン (8140) は、東京証券取引所第1部上場30周年を記念して、2016年3月期末に普通配45円に記念配50円を上乗せ95円とする。第2四半期末配当と合わせた年間配当は140円と前の期の80円から60円の増配になる。

★山一電機 (6941) は発行済株式総数の4.29%にあたる100万株、取得総額5億円を上限とする自社株取得枠を設定する。取得期間は週明け29日から4月28日まで。

★ヤマウ (5284) は2016年3月期の業績見通しを下方修正。連結業績について売上高を従来予想の210億円から200億円(前期比3.5%減)、営業利益8億1000万円を4億4000万円(同44.9%減)へ。公共工事減少や工事案件が進捗の遅れが響く。

来週のスケジュール

- ・29日 1月鉱工業生産8:50
1月商業販売統計8:50
- ・1日 1月労働力調査・有効求人倍率8:30
1月家計調査8:30
10-12月期法人企業統計8:50
中国2月製造業PMI10:00
米2月ISM製造業景況指数
米2月新車販売台数
- ・2日 米2月ADP雇用統計
- ・3日 米2月ISM非製造業景況指数
- ・4日 米2月雇用統計
米1月貿易収支

先物の状況

2月第4週の先物市場は、為替の動きに連動するが、1上値の重い動きとなったが、1万6000円中心とする小動きで終始した。

225先物の第1限月である3月限では下値が1万5700円、上値が1万6300円でレンジの動き。為替は24日深夜に1ドル111円04銭まで円高が進んだ場面のナイトで1万5730円まで下落した場面もあったが、一段と売られることなく、為替とともに戻す動きとなった。現段階で2月26、27の両日に上海で開催されるG20財務相会議の内容は不明だが、こ

225オプションの3月限プットについては、最下限である権利行使価格1万5000円では週末には2円まで下落した。3月第2週のSQまで実質営業日は9日間。仮に大幅下落があっても、1万5000円は安全ゾーンになりそう。証拠金を確認しながら、SQまでの継続狙いでこの1万5000円を徹底した売り対処で行動したい。コールの場合には1万9500円からのプットの最下限が1万3000円。価格は120円を超えていることから様子見対処。

プット1万5000円を徹底対処

れを受けての動きで指しそうだ。

編集後記

行きつけの立ち飲みやお姉さんに、バレンタインデーにクッキーをもらったので、自宅近所の和菓子屋で評判のいちご大福をお返ししたら、すごく喜んでくれた。二十歳そこそこのお嬢さんに、中高年の域に入った筆者が下心を持ったわけではない。いつも日本酒焼酎を注文するとチェイスの水、タバコを取り出す前に灰皿を用意してくれる。遣いに感謝していた。読者のみなさまにはあくまで参考ながら、少しでも投資の役に立つ情報を提供することを、感謝の気持ちで

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らたいたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。